

この安全性評価について

評価結果

- ・焼却灰を陸域化部分に埋め立てることで、残余水面に到達する時点での放射能濃度は検出下限値（10Bq/l）を下回り、十分な安全性が確保される。
- ・さらに、ゼオライトを20cm敷設することにより、放射性セシウムを処分場内に封じ込めることが可能といえる。

評価地点		覆土下		POC		
		20cm	なし	20cm	なし	
10%混焼時 最大濃度	¹³⁷ Csピーク濃度	Bq/L	1.66	276	0.0302	0.944
	ピーク出現年数	年	77	8	243	166
	濃度限度比	-	-	-	0.0003	0.0105
20%混焼時 最大濃度	¹³⁷ Csピーク濃度	Bq/L	3.32	552	0.0604	1.89
	ピーク出現年数	年	77	8	243	166
	濃度限度比	-	-	-	0.0007	0.0210
2,000 Bq/kg 想定時	¹³⁷ Csピーク濃度	Bq/L	9.50	1,578	0.172	5.39
	ピーク出現年数	年	77	8	243	166
	濃度限度比	-	-	-	0.0002	0.0599